

第 6 次塩竈市長期総合計画の概要

1. 長期総合計画とは

- **市政運営の指針**となるもので、行政計画における**最上位の計画**
- **将来のまちづくりの方向性を示す**もので、市はもとより市民・事業者など地域の多様な担い手が役割を分担し、**共に目指すまちを創り上げていくための指針**

2-1. 第6次長期総合計画の内容

目指す都市像

うみ やしろ
海と社に育まれる
楽しい



《 まちづくりの基本理念 》

今ある個性を大切にし、みんなでつな
ぎ 合わせて、新しい魅力を創り上げ
ていく、未来に続くまちづくり

これまで塩竈は、海をはじめとした自然や豊
かな歴史・文化に培われた人々の暮らしに
よって育まれてきました。

個性豊かで調和のとれた持続可能なまちづく
りに向けて、目指す都市像に『海と社に育ま
れる楽しい塩竈』を掲げ多彩な魅力を生かし
た楽しさあふれるみなとまちを、市民をはじ
めとした多くの方々と共に創り上げます。

※計画期間：令和4年度～令和13年度の10年間

2-1. 第6次長期総合計画の内容

第6次塩竈市長期総合計画の構成

まちづくりの基本理念

「今ある個性を大切に、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を創り上げていく、未来に続くまちづくり」

序論

①本市の特性

- 人口特性：自然減による人口減少が顕著
- 地理的特性：市域が小さくかつ機能が集約したコンパクトシティ
- 産業特性：食産業の特化係数が高い

②主な時代の潮流

- 人口減少・少子高齢化社会
- 地方創生の推進
- 情報化・デジタル化の進展
- 地球環境問題の深刻化
- 新型コロナウイルス感染症による社会・経済への影響
- SDGsの取り組み推進

③まちづくりの課題

- 人口減少・超高齢社会進展への対応
- 豊かさや幸せを実感できる地域社会の構築とまちの魅力度向上
- 地域の個性を十分に活用した産業振興
- 新たな危機への対応

④まちづくりへの想い

- (塩竈らしい100の暮らし)
【想い】「楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい」
【4つのまちのイメージ】
- 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
 - 子どもたちが生き生きしているまち
 - 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
 - さまざまな人たちとつながり、賑わいがあるまち

⑤まちづくりの視点

- 持続可能なまちづくり
- シビックプライド醸成

⑥まちづくりの手法

- 協働・共創のまちづくり
- 社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくり

基本構想

令和4年度～令和13年度

目指す都市像

海と社に育まれる
楽しい



まちづくりの目標

～未来に続く8つの塩竈物語～

分野1 子ども	子どもたちの 笑い声が あふれるまち	
分野2 福祉	みんなが 生き生き しているまち	
分野3 生活	快適に 住み続けられるまち	
分野4 産業	活気があり、誇り をもって働いている人が たくさんいるまち	
分野5 交流	何度でも 訪れたいまち	
分野6 文化	日常に彩りが あるまち	
分野7 協働	みんなが 主役になれるまち	
分野8 浦戸諸島	自然と調和した 和やかな暮らしと 癒しがあるしま	

■将来人口
50,000人

(令和13年末住民基本台帳人口)

総合計画の全体像

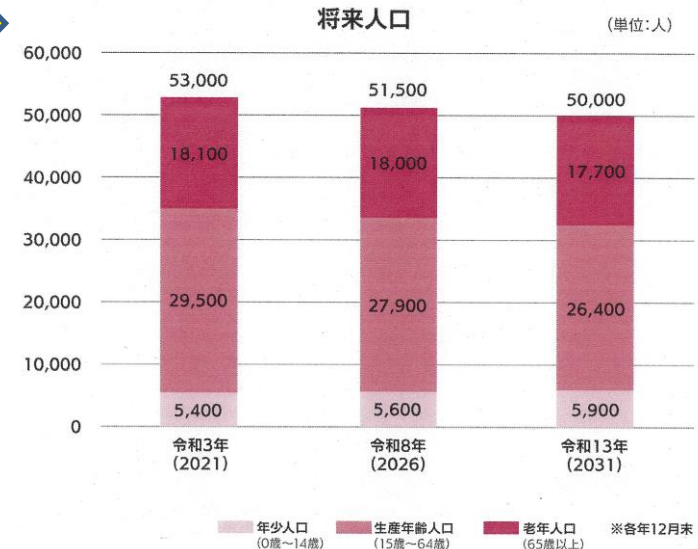
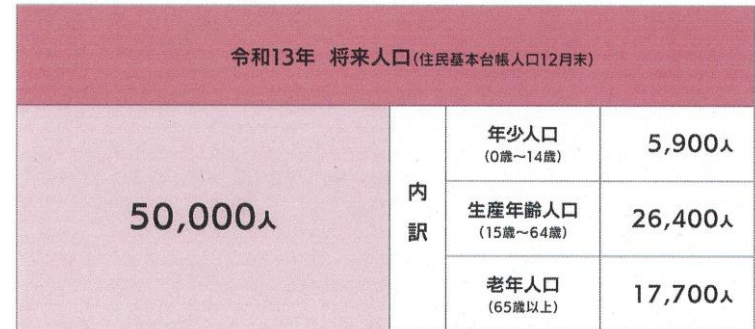


2-1. 第6次長期総合計画の内容

将来人口は

今のままだと・・・

子育て世帯の移住・定住を促進
子どもを生き育てやすい環境を整備



2-2. 第6次長期総合計画の特徴

塩竈らしい100の暮らし

「塩竈が塩竈らしくここでしかなし得ないかたちで続いていくこと」をテーマに、市民 まちづくりワークショップを全6回開催しました。参加者のアイデアは、『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』という思いにあふれた「100の暮らし」にまとめられ、計画にも反映しました。

①住んでいて心地良く、誇りを持てるまち

安心して子育てできる暮らしや、コンパクトシティの利便性を生かして環境に配慮する暮らし、自然や歴史・文化などの地域特性を生かした暮らしなどが描かれました。



②子どもたちが生き生きしているまち

幅広い年齢の子どもが親や地域の人の温かみに触れながら、豊かに成長していく暮らしなどが描かれました。



③地域特性を生かしたやりがいのあるまち

仲卸市場で楽しく買い物している暮らしや、地域特性を生かした新しい商品を生み出す暮らし、浦戸の自然を生かした活気のある暮らしなどが描かれました。



④さまざまな人たちとつながり、賑わいがあるまち

家族や仲間たちと季節ごとの塩竈の魅力を味わう暮らしや、みんなで一緒に地域活動に参加する暮らし、空き家を活用した新たな賑わいが生まれる暮らしなどが描かれました。

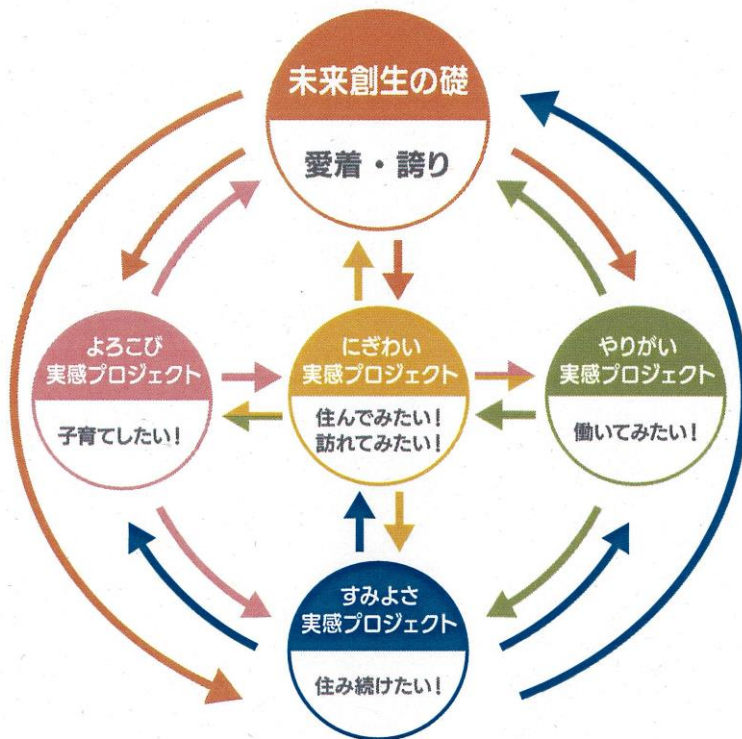


2-2. 第6次長期総合計画の特徴

しおがま未来創生プロジェクト

機動的・横断的に取り組んで施策連携に伴う相乗効果を発現するとともに、同時並行的に好循環を生み出します。

プロジェクトの推進による好循環のイメージ



プロジェクト 体系図

計画期間：令和4年度～令和8年度

塩原への愛着・誇りの醸成(未来創生の礎)

重要目標達成指標(KGI)		
基準値	前期計画目標値	目標値
65% (令和元年度)	70% (令和8年度)	80% (令和13年度)

(まちづくりに関する市民アンケート)

すみよさ 実感プロジェクト	よろこび 実感プロジェクト	やりがい 実感プロジェクト	にぎわい 実感プロジェクト
住みやすさを 52% ▶ 57% ▶ 70% 基準値 前期目標値 目標値	子育ての満足度を 38% ▶ 43% ▶ 50% 基準値 前期目標値 目標値	仕事の満足度を 67% ▶ 72% ▶ 80% 基準値 前期目標値 目標値	住みたいを 9% ▶ 14% ▶ 20% 基準値 前期目標値 目標値

「100の暮らし」からのまちのイメージ

1. 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
2. 子どもたちが生き生きしているまち
3. 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
4. さまざまな人たちがつながり、賑わいがあるまち

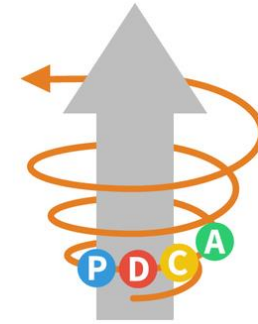
国の第2期総合戦略基本目標

1. 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

2-3. 第6次長期総合計画の推進と評価

長期総合計画に基づいて
施策や事業の立案、
目標の設定を行います

施策や事業を実施し、
その効果を測定します



計画を立てる

計画を実行する

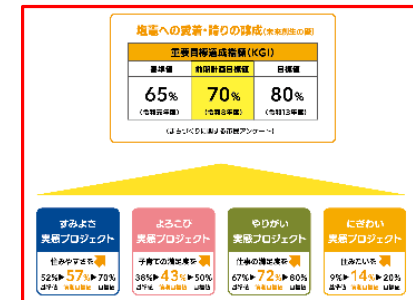


改善して次に繋げる

行動を評価する

評価・分析を踏まえ、改善や対策を行い、
施策や事業の見直しに反映させます

目標と実績の差異を
把握し、評価・分析を行います



成果指標			
NO	指標名	基準値	目標値
1	「子育て支援の充実」の満足度	よさこひ 21.5% (令和元年度)	25% (令和8年度)
2	乳児全戸訪問実施率	よさこひ 100% (令和2年度)	100% (令和8年度)
3	待機児童数(年度当初)	よさこひ 11人 (令和2年度)	0人 (令和8年度)
4	一時預かり保育利用者数	よさこひ 935人 (平成30年度)	950人 (令和8年度)
5	放課後児童クラブ待機児童数(年間最大人数)	よさこひ 5人 (令和2年度)	0人 (令和8年度)